

【評価対象事業】

- ・児童発達支援

【調査機関】

- ・令和3年12月13日～令和4年1月14日

【調査対象者】

- ・当別町子ども発達支援センター指導員

【回答率】

- ・配布数：7名 回収数：7 回収率：100%

*回答を分析し、次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・センター内の環境や設備等の配慮は、適切に行っているという評価です。業務改善、適切な支援の提供、関係機関や保護者との連携、非常時の対応は、概ね適切に行っているという評価です。
- ・職員の専門性や資質については、専門職としての機能が一部果たされていないという意見がありました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により研修を受講し、学習をする機会が減りましたが、職員一人ひとりの意識や自主的な研修、学習に差がみられるのではという評価です。
- ・保護者会等は、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催が難しく、中止や書面でのお知らせとなりました。次年度は感染症の状況等をみて、開催の方法を考えながら、保護者同士の連携を支援したいと考えます。

【課題】

- ・今後も利用者に安心して通園していただけるよう、職員の体調管理の意識向上、センター施設内や遊具等の消毒を行い、感染症予防の徹底が引き続きの課題となります。
- ・職員の専門性や資質については、評価を踏まえて反省し、職員一人ひとりの意識の向上が今後も課題と考えます。新型コロナウイルス感染症の状況から、研修受講の機会が減り、一人ひとりの自主性が問われますが、可能な限り個々に学習をする姿勢が必要と考えます。
- ・新型コロナウイルス感染症等の状況によりますが、保護者向けの交流会や学習会の開催方法を検討し、保護者同士の連携を支援していくことも、今後の課題となります。

【今後に向けて】

- ・今後も利用児童と保護者の方一人ひとりに寄り添い、適切な支援の提供や職員の資質向上を目指します。次年度は、社会福祉法人妻の子会の臨床発達心理士による地域支援の受講、道立施設専門支援事業で北海道総合医療・療育センターの医師による研修会の受講、北海道通園センター連絡協議会主催の研修会の受講を予定しています。その他随時研修会、学習会の案内があれば参加を希望します。
- ・認定こども園や学校、他の事業所等との連携に努めます。
- ・引き続きセンター施設内の消毒等を行い、新型コロナウイルス感染症やその他の感染症予防の徹底に努めます。